

富山と対岸諸国との物流

08年秋のリーマン・ショックの影響からようやく立ち直ろうとしていた日本経済は、3月11日の東日本大震災によってまたしても打撃を受けることになりました。また日本の震災によって世界、就中アジアの工場の生産が滞る事態が起こり、改めてアジアのサプライ・チェーンのあり様を考えさせられました。

一方現在政府は、日本海側の拠点港の選定、太平洋側の代替機能の確保による災害に強い物流ネットワークの構築を考えており、日本海側の港湾への要求はこれまで以上に大きくなっています。

本シンポジウムでは、アジアの物流のありかた、とくに富山をとりまく日本海側の物流、富山と北東アジアの物流について4名の先生にお話しいただきます。日本海側拠点港形成の政府委員でもいらっしゃる神奈川大学の中田信哉・教授をはじめ、韓国および北東アジアの物流事情の泰斗である韓国・仁荷大学・静石物流通商研究院の教授2名をお招きし、また富山大学で物流についての教鞭をとっている李瑞雪・准教授の4名の先生方に、北東アジアの物流、韓国と富山の関係、さらに中国を含めた物流問題の講演をしていただきます。

日時：2011年11月21日（月）13：30～17：00

場所：富山国際会議場 203号室（富山市大手町1-2 電話：076-424-5931）

プログラム：（韓国語通訳あり）

13：30－13：35 今村弘子・富山大学極東地域研究センター長・挨拶

13：35－14：35 中田信哉・神奈川大学・経済学部・教授

「物流拠点再配置と日本海側港湾の位置づけー北東アジアとの国際物流に関してー」
（質疑応答も含む）

14：35－14：50 休憩

14：50－15：20 李瑞雪・富山大学・経済学部・准教授

「港湾物流企業の新展開：輸出入業務の支援者からグローバルサプライチェーン連結者へ」

15：20－16：00 全 宰完（Jeon, Jae Woan）、仁荷大学静石物流通商研究院研究教授

「グローバル生産ネットワークの変化に伴う物流ネットワークの強化」

16：00－16：40 金亨根（Kim, Hyung-geun）、仁荷大学静石物流通商研究院研究教授

「北東アジア地域物流ネットワーク及び進出方案」

問合せ・申込み先：富山大学・極東地域研究センター

電話：076（445）6510、ファクシミリ：076（445）6520、メールアドレス：kyokuto@eco.u-toyama.ac.jp

お 名 前	連 絡 先